

風立ちぬ

風の街の中学校の窓から

庄内町立立川中学校
学校だより
2016. 3. 3

文責：校長 石崎幸宏

3年生 たちかわ夢サポート塾



「たちかわ夢サポート塾」は地域の先生等にわからない所を質問しながら学習する町教育委員会主催の土曜塾です。本地区は塾が遠く、通いたくとも通うことが難しい現状にあります。その悩みの克服のため、中学3年生の希望者を対象に土曜の午前、狩川公民館で

開催されました。↑(写真) 閉講式の場面から

「学校の指導が中核」であり、それをサポートするという視点で9月12日にスタートしたサポート塾でしたが、20回目となった2月20日に閉講式が行われ、多くの成果を上げて終了しました。サポート塾はいつも40名の素直な生徒達のやる気がいっぱいに満ち溢れていました。共に学ぶ雰囲気の中、互いにいい刺激を受けながら、それぞれの夢・目標の実現のためにがんばる姿がありました。

「たちかわ夢サポート塾」は「塾が遠い」という課題の克服の他に、様々な良さが生まれました。

- ① 9月からの開催は、部活動を終えた生徒にとっていち早く気持ちを切り替え、受験勉強に取り組むきっかけや弾みとなり、頑張っているという認識が更に学習意欲につながりました。
- ② 土曜の午前中は、勉強をする時間帯という意識を持ち、習慣となりました。
- ③ 講座後に自発的に質問に来る生徒、自分の問題集を持ち込んで聞きに来る生徒、テストの結果をもとに対策を相談に来る生徒等、受験生としての主体性や学習意欲が高まりました。
- ④ 数学と英語では、いくつかのコースを設け、生徒の希望選択制を取り、個に応じた学習を行うことで、生徒の意欲と学力の向上につながりました。
- ⑤ コーディネーターの鎌田先生が毎回発行する「夢サポート塾連絡表」では、塾での生徒の様子だけでなく、学校での方針や指導、生徒の様子も記載いただき、学校と家庭、塾の橋渡しの大

- ⑥ 「通塾の約束」を守ることで、学習だけでなく、感謝の気持ちで行う入退館時の挨拶や会場の準備・後片付け等もさらにしっかりできる生徒を育てていただきました。
- ⑦ 多くの一般来館者の訪れる公民館が会場であり、その方々から本校生徒ののんびりを見ていただくことで、生徒は地域の方々から温かく見守られていることを実感しました。
- ⑧ サポート塾でののんびりが、これまで以上に前向きで意欲的な学校での学習につながり、相乗効果となりました。

「地域と共に歩む学校」を進めている本校にとりまして、多くの地域や学校外の方々とかかわり、よりよく頭も心も意欲も育てていただいたことに感謝いたします。庄内町教育委員会、コーディネーターの鎌田先生、ご指導くださった講師の皆様、東北公益文化大の学生の皆様、送迎等ご協力いただいた保護者やご家族の皆様、本当にありがとうございました。

1年生 新入生入学説明会

2月12日午後、立川小学校6年生と保護者の皆様を対象に「新入生入学説明会」が行われました。今年度から説明会は2部制となり、前半の部を1年生の生徒の皆さんが担当しました。



最初に披露した学年合唱の「校歌」と「Let's search for tomorrow (レッツサーチ フォー トゥモロー)」では、日頃の音楽授業と合唱コンクール前に鍛えた、また1年生の良さが出たすばらしい演奏となりました。学校の紹介では、学習や行事等について、プロジェクターで映像を映し出しながら、今年度1年間を経験して感じていることや1年先輩としてのアドバイスも織り交ぜての説明がありました。映し出された入学式、マラソン大会、運動会、文化祭の映像と合唱を披露し説明している1年生を比べると、この1年間一人一人がたくましく頼もしく、心身共に成長していることを改めて実感しました。

これまでも、6年生には本校で大津教諭が理科の体験授業を行ったり、蛸井教諭が小学校に出向いて、図工の授業を何度も行ったり等、小中の段差をできるだけ少なくする取り組みを立川小学校と連携して行ってきましたが、「入学説明会」での1年生の活躍によって、6年生にとって中学校がより段差の少ない身近なものになったものと思います。6年生の皆さんには安心して入学してきてほしいと思います。1年生の皆さんありがとうございました。

